



「1・2・3」開かれたこども園づくり	感染症予防対策をしながらできる範囲でゲストティーチャー等を招聘し、地域との交流ができるように努めた。毎週金曜日にホームページの「今週の一枚」のコーナーでは写真を更新していること等を地域の方にも発信し、興味をもって見ていただけるようにしていくようにする。
「4・5」子育て支援の推進	育児相談日が定着し、利用も増えている。引き続き子育て支援・保護者への支援につながるよう努力する。コロナ禍のため絵本の貸し出しを行わなかった期間が長くあり、「そう思う」が38%と読み聞かせの減少につながっていると考えられる。
「6・7・8」遊びをとおした幼児期にふさわしい生活の総合的な展開	6・7・8の取り組みについて「そう思う」が80%以上という結果から、家庭でも子どもの話に耳を傾けていただいていることがうかがえる。今後も全身で自然を感じ、五感を働かせてのびのびと遊ぶ経験等子どもたちが心動かされる体験を大切にしていく。
「9・10」基本的な生活習慣の育成	園と家庭とのつながりの中で生活習慣が確立されていくので、大人が子どもの見本となり、習慣として身につくよう、マナー（箸の使い方等）について保護者にも体験してもらえようような取り組みの工夫をしていく。
「11」幼小連携	子ども達の就学への期待につながる取り組みを進めたが、コロナ禍により交流が減少し「そう思う」は51%となっている。就学に向け、アプローチプログラムを活用し園からも働きかけ連携をしていく。
「12・13・14・15」道徳性の芽生え及び人権教育	我慢する力や最後までやり抜く態度が39%と低い。集団の中で様々な経験を繰り返し、我慢したり最後までやり抜いたりする力が身についていくよう今後も、認め合ったり、励まし合ったりしながら自己肯定感を高めていき、少しずつ身につけていくようにする。
「16・17」安全教育	防犯・防災について子どもと話し合い、意識できるように努めているについて「そう思う」が、5割を切っている。防犯・防災についての取り組みの工夫をし、家庭への啓発に取り組んでいく。
「18・19・20」食育	毎日しっかりと朝ごはんを食べ、給食について話をする家庭が70%とを超え、家庭でも食に興味を持ち、健康な身体作りへの意識が高くなっている。栽培や収穫体験を重ねながら感謝の気持ちも育てていきたい。